

東京都ひとり親家庭就業推進事業

経緯・背景

事業開始

- 民間団体が行ったひとり親家庭へのアンケートでは、新型コロナによる雇用・収入への影響について、約7割が「影響があった」と回答（「新型コロナウイルスの影響によるシングルマザーの就労・生活調査」R2.8）
- 厚生労働省の調査・分析によると、新型コロナの影響により、宿泊業・飲食サービス業等の産業において、非正規雇用労働者を中心に就業者数・雇用者数の大幅な落ち込みや労働時間・賃金の減少等の影響がみられた（「令和3年版 労働経済の分析」R3.7厚生労働省）
- ⇒コロナ禍で雇用が不安定となったひとり親を支援するため、令和4年度に事業開始（準備業務は令和4年3月に実施）

ひとり親家庭の特徴

- ひとり親は、子育てと生計の担い手の2つの役割を一人で担っており、負担が大きい
- コロナ以前から、ひとり親家庭は両親世帯に比べて収入の低い家庭が多い傾向があり、就業している母子世帯の正規就業は43.2%となっており、32.1%はパート・アルバイト等の非正規雇用（「令和4年度 東京都福祉保健基礎調査」）

ひとり親の就業先の選択肢拡大のため、引き続き就業支援を推進

事業概要

事業目的

就職や転職を希望するひとり親に対して、一人ひとりの希望や適性に応じた伴走型の就業支援を実施し、自立を促進する。

事業内容

〔予算規模 200名〕

広報・募集

チラシの配布やホームページ等により事業を周知し、希望者からの申込を受け付け

事前面談等

申込者が希望する就業の形態等を面談により聴取し、就業コーディネーターが個別支援計画を作成

スキルアップ訓練

ひとり親が参加しやすい方法により、就職に向けてスキルアップを図るための実践的な訓練を実施

マッチング支援

本人の希望に合致した求人を紹介するとともに、求人企業と被支援者のマッチングを支援

アフターフォロー

就職した被支援者の職場定着を支援するため、就職直後の不安や悩みについての相談に対応

求人開拓

企業に対して事業を周知して求人を開拓

相談対応

就業コーディネーターが定期的に被支援者の状況を把握して助言